

番号	意見・質問・要望等	町の考え方	担当課	その後の状況 (R7.12.9時点)
1	くいま～の路線変更に伴い、唐杉の停留所がなくなった。説明資料の点線で囲まれた場所では、手を挙げればバスが停まってくれるのか。	点線で囲まれた場所はフリー乗降区間であるため、手を挙げてもらえれば乗降可能。	総務課	ご質問の場所は、フリー乗降区間となる。区間内であれば、どこでも乗降できる。乗りたい場所で運転士に分かるように手を上げてください。※区間内であっても危険な場所では停まらないため、交差点からは離れるなどご協力をお願いします。
2	ゼロカーボンについて、植樹して二酸化炭素を吸収することで、二酸化炭素排出量を減らす考えもあると思う。再造林などトータル的に施策を行う必要があると思うが、町の考えは。	県ではグリーン成長プロジェクトとして、再造林率90%を目標としている。町でも再造林率向上に向け、県の森林整備事業補助金に上乗せした補助金交付を行っており、積極的に再造林を進めている。また、苗に対する補助も行っており、二酸化炭素排出量削減にも繋がっていると思う。	農業振興課	循環型林業を推進していくため、県が掲げる再造林率日本一を目標とする「グリーン成長プロジェクト」と一体となって、再造林への支援に努める。
3	五本松交流拠点施設整備に関する補助金額が減ったと聞いた。	都市再生整備計画事業では、本町は約1億円の予算を組んでおり、都市再生整備計画事業の補助率は1/2であるため、5,000万円の歳入を見込んでいた。しかし、国土交通省からの交付決定では減額となったため、県や国土交通省にも直接減額の理由を聞いたが、全国的に申請が多く、補助額が減ったとのことであった。現在、ハード面でも申請できる地方創生2.0を活用できないか、交付申請に向けた準備中である。	企画商工課	10月中旬に優先交渉権者が決定し、基本契約書の締結や、設計施工一括契約などの交渉を進めている。進捗状況については、可能な限り町公式ホームページ等に掲載していく。
4	町には16の納骨堂、墓地、墓苑がある。先日、町納骨堂組合連絡協議会総会があったが、墓じまいを検討する人も多い。町でも永代供養できる場所ができないか。	墓苑高才原で合葬墓を整備できないかのご意見がある。納骨堂組合や寺社など現に埋葬に携わる方々の意見を踏まえながら、町としての検討を続けていきたい。(町長)納骨堂から合葬墓に移動されると各納骨堂組合の存続にも関わる。各納骨堂で合葬墓が作れないか、連協でも協議し各納骨堂の存続を前提としながら、町としても検討していきたい。	環境水道課	墓地・納骨堂管理者との意見交換を踏まえ墓地・納骨堂単位での合葬墓設置も視野に可能性調査や検討を続ける。
5	猫について、飼い猫であっても家を自由に出入りすることもあり、飼い猫、野良猫の区別がつかない。野良猫については保健所にも相談し、地域で避妊するようと言われたが、捕まえるのも大変である。マダニの媒介も懸念しており、どうか町の方で対策できないか。	猫は登録不要の愛護動物のため対策は難しい面がある。個別には現場確認や応じた助言等が可能な場合はある。愛護の観点で問題があれば保健所等と連携し対応する。安易に触れないような周知も含め、飼い主のマナー向上・意識醸成に向け地道に取り組んでいきたい。	環境水道課	飼い主に向けてルールを守って飼っていただくよう、あらためて7月1日付け回覧で周知・啓発を行いました。
6	以前、梶山小学校が複式学級になる可能性があるとき、地域住民で活性化委員会を立ち上げ、町にも相談して補助事業を実施してもらった。地域の核となる小学校を残していくよう、地元住民も頑張らないといけないが、公民館活動は高齢化も進んでおり難しくなっている。町としても地域住民と一緒に活動できるような施策等進められないか。	スクールバスで校区外から生徒を50～60名確保してはいるが、今のままでは厳しい状況。天神原団地跡地の活用も含め、1つ1つ進めていく。	企画商工課	過疎地域定住促進奨励金の活用を今後検討していく。
7	広場の活用について、何か案があるのか。	地元の賑わいに繋がるような取り組みができないか検討している。例えば季節の花を植えるなど、地元の皆さんと一緒に、地元のためになるような活用方法を検討していく。	総務課	広場の活用について、地元の賑わいに繋がるような取り組みができないか検討中。地元の皆さんと一緒に、地元のためになるような活用方法を引き続き検討していく。
8	ふるさと納税を活用しない手はないと思う。町の活性化にもつながると思うが、何か模索しているのか。	R5が過去最高額であったが、R6に記録を更新し、1億9930万弱と、2億円に若干満たない程度であった。ふるさと納税は現在1兆円の市場規模となっており、米や日用品が人気がある。町ではふるさと納税のポータルサイトを16個やっており、返礼品については320商品あるため、多岐にわたる商品でリピーターもついている。今後はまな板、包丁、食材などのコラボ商品や、シティプロモーションに力を入れるため、9月末や12月末の駆け込み時期に対面イベントを実施予定。	企画商工課	9月には、東京でリアルイベントに参加した。昨年、一昨年と比較すると寄附額は増している。引き続き、地元を応援していただける施策を行っていく。
9	合宿など、定住しなくても良いので三股町に来てもらえるような仕組み作りはできないか。	三股町も民泊やスポーツ合宿施設含めて4箇所あるが、目立っていない。令和9年度には国スポがあるが、都城市も動いている。三股町は韓国の成均館大学の野球部が旭ヶ丘運動公園で合宿している。また、台湾の三股里との交流も進めており、教育等での交流ができないか検討している。	企画商工課	2月には旭ヶ丘運動公園で、WBCチェコ共和国代表が事前合宿することが決まった。台湾との交流も、教育課を中心に取り組んでいる。